

ANCIENT CIVILIZATION OF THE ANDES

黄金とミイラが伝える

古代
アンデス
文明展

2019.3.8(金)→5.6(月)



黄金とミイラが伝える 古代アンデス文明展

南米大陸の太平洋岸に展開した、時間的にも空間的にもあまりに巨大で複雑な文明の全体像を、私たちにはまだほとんど知りません。時間的には先史時代から16世紀にスペイン人がインカ帝国を滅ぼすまでの約15000年間、空間的には南北4000km、標高差4500mに及ぶ広大な地域で、ナスカ、モチエ、ティワナクなど多種多様な文化が盛衰を繰り返しました。これらの文化の魅力と個性を紹介してきたのが、1994年に国立科学博物館で開催した「黄金の都シカン発掘展」にはじまり、2012年「インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年」まで5回の展覧会を開催、400万人以上を動員したTBSアンデス・プロジェクトです。その集大成といえる今回の特別展「古代アンデス文明展」では、いくつもの文化が連なり、影響を与え合う中で育まれた神々の神話や儀礼、神殿やピラミッドをつくり上げる優れた技術、厳しくも多彩な自然環境に適応した独自の生活様式などを、アンデス文明を代表する9つの文化と選び抜かれた約200点の貴重な資料によって明らかにします。

【開催情報】

会期：2019年3月8日(金)～5月6日(月) 休展日：なし

会場：大分県立美術館 1階 展示室A

時間：10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

観覧料：一般・大学生 1,500(1,300)円／高校生 1,000(700)円／小中学生 600円

※()内は20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。

主催：古代アンデス文明展実行委員会、OBS大分放送、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

共催：大分合同新聞社

後援：外務省、ペルー大使館、ボリビア大使館、大分県、大分県教育委員会、MRT宮崎放送

特別協賛：大分銀行、大分トヨタ自動車、江藤産業、文殊仙寺

協力：ペルー文化省、ボリビア文化観光省、クントゥル・ワシ調査団、国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館

企画制作：国立科学博物館、TBSテレビ

[展示物]

チャビン文化

紀元前1300年頃から前500年頃

《差し込み用の突起付きの石の頭》
ペルー文化省・国立チャビン博物館所蔵

チャビン・デ・ワントル神殿の壁に差し込まれていた石の頭像。神への変身の過程を描いている。

ワリ文化

紀元650年頃から1000年頃



《リヤマをかたどった土器》

ペルー文化省・国立考古学人類学歴史博物館所蔵

ラクダ科のリヤマは運搬・織物のための採毛・食肉などの用途でアンデスには欠かせない家畜だ。この高炉の高さは約70cmもある大きなもの。

ナスカ文化

紀元前200年頃から紀元650年頃

《リヤマが描かれた土器》
ディダクティコアントニーニ博物館所蔵

地上絵で有名なナスカだが、土器にもすぐれて芸術的なものが多い。適度に抽象化されているこの土器の絵もその一つ。

シカン文化

紀元800年頃から1375年頃

《金の合金製のシカン神の仮面》
ペルー文化省・国立シカン博物館所蔵

アンデスの多神教の風土の中で、シカンではこの仮面のような「アーモンド・アイ」をした「一神教的な」神が頻出する。

モチエ文化

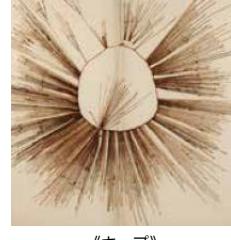
紀元200年頃から750/800年頃

《黄金製の神像》
ペルー文化省・国立博物館所蔵

モチエ文化はペルー北海岸で繁栄したユニークな土器と華麗な黄金製品で有名な文化。牙が生えているのはアンデス文明の神の特徴の一つ。

インカ帝国

紀元15世紀早期から1572年頃



《キープ》

ペルー文化省・ミイラ研究所・レイメバンバ博物館所蔵

高度に文明化されていたインカには文字がなかった。そのため、キープという紐に結び目を作り情報を記憶した。

[関連イベント]

ギャラリー・トーク

案内人：鶴見英成氏(東京大学総合研究博物館助教)

日時：3月8日(金) 14:00～・18:30～

場所：1階 展示室A

参加費：無料(要展覧会観覧券)

申込み：不要

講演会「アンデス文明の土器の謎」(仮)

講師：鶴見英成氏(東京大学総合研究博物館助教)

日時：3月9日(土) 10:30～11:30

場所：2階 研修室

定員：80名

参加費：無料(要展覧会観覧券または半券)

申込み：要事前申込

ミニコンサート「ケーナ演奏会」&講演会「アンデスの元気長寿食」

演奏者：アンデスの会

講師：川島正人氏(川島整形外科病院理事長・大分県病院協会会长・大分大学医学部臨床教授)

日時：ミニコンサート-3月17日(日) 14:00～14:20

講演会-3月17日(日) 14:30～15:30

場所：1階 アトリウム 西側

定員：100名

参加費：無料(要展覧会観覧券または半券)

申込み：要事前申込

ミニコンサート「ケーナ演奏会」&ミニトーク

演奏者：アンデスの会

講師：川島正人氏(川島整形外科病院理事長・大分県病院協会会长・大分大学医学部臨床教授)

日時：ミニコンサート-4月14日(日) 14:00～14:30

ミニトーク-4月14日(日) 14:40～15:10

場所：1階 アトリウム 西側

定員：100名

参加費：無料(要展覧会観覧券または半券)

申込み：要事前申込

アルパカがやってくる！

日時：3月10日(日)・4月13日(土)

両日10:00～16:00

場所：東側 創作広場

参加費：無料(写真撮影希望者は要展覧会観覧券または半券)

申込み：不要



★ナイトミュージアム

案内人：OBSアナウンサー or 大分県立美術館 職員

日時：3月9日(土)・15日(金)・16日(土)・22日(金)・23日(土)・29日(金)・30日(土)・4月5日(金)・6日(土)・12日(金)・13日(土)・19日(金)・20日(土)・26日(金)・27日(土)、5月3日(金)・4日(土) 各日19:00～20:00

場所：1階 展示室A

参加費：無料(要展覧会観覧券)

申込み：不要

関連イベントお申し込み方法

参加ご希望の方は、メールまたは電話にてお申し込みください。メールの場合：app@opam.jpへ【件名】に各イベント名、【本文】にお名前・ご連絡先のお電話番号をご記入の上、お送りください。電話の場合：097-533-4500まで、お名前・ご連絡先のお電話番号をお伝えください。

開会式

日 時：2019年3月8日(金)9:00～9:30(受付：8:45から)

場 所：大分県立美術館 1階 アトリウム

内覧会

日 時：2019年3月8日(金)9:30～10:00

場 所：大分県立美術館 1階 展示室A

案内人：篠田謙一氏(国立科学博物館副館長兼人類研究部長)、鶴見英成氏(東京大学総合研究博物館助教)

ご参加いただける方は以下をご記入の上、お手数ですが、Email:info@opam.jpまたはFax:097-533-4567までお送りください。お名前： ご所属：参加人数：Tel : E-mail : お問い合わせ：公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 大分県立美術館 広報 宇都宮・木藤・植木・後藤 Tel:097-533-4500 E-mail:info@opam.jp公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館(OPAM) 大分市寿町2番1号 Tel: 097-533-4500 Fax: 097-533-4567 E-mail: info@opam.jp